

# 白山登山

## メンバー

大塚賢一 45 才  
木倉 博 37 才  
福迫順一 37 才  
中垣早人 30 才  
岸本陽介 27 才  
田中 彰 26 才  
大塚貴司 21 才  
大塚近子 42 才  
三好琴美 27 才  
大江友乃 27 才  
河方直子 27 才

今回は童心に帰ったように面白くその名も「ピクニック登山」と称した。

この白山は2700級にも関わらず「水」がテントサイトでも豊富にあり、ガスさえ持って登れば体力次第でオートキャンプ並の食事が可能なのである。今回は11人の大人数なのでそれを試みた。



雪 溪 と 別 山

Endlessな利潤を追求するあまり、必然的に擬似的な自分を造らねばならなくなり、人間本来の大きな気持ちが薄れて信じられるものが少なくなっていく今日この頃・・・、

そんな事もみじんにも感じさせないフレッシュで躍動感あふれる3人の女の子が加わり楽しい登山となった。夢あふれる3人の会話にはこれからの成長が楽しみである。

そんな中で妻のちか子は若いエネルギーをもらってか2000m級の山は初登山にも関わらず誰にも遅れをとらずに大変よく頑張ったのには驚きであった。

このたびの白山はあまりにも喜怒哀楽が激しすぎて完全に振り回されてしまった。両日とも午前中はスカイブルーの空に喜びを噛みしめていたが、午後からは怒り狂ったようなカミナリに見舞われ、2日目にはさわやかなシャワーからバケツをひっくり返したような豪雨になり波瀾万丈の登山であった。

2000.8/5-6

## 天 候

5日 > 晴 / 曇  
6日 > 晴 / 雨

「始めて」が付くものを幾つか上げてみると・・・

- ・男7人、女4人の総勢11人のキャンプ登山
- ・女子とのミックス登山
- ・初登山者 > 3名うち白山への初登山者7名
- ・米3升、大鍋4ヶ、野菜、ビール10L、7人用テント、5人用テン持ち込み
- ・・・と、いうふうに数え上げればキリがないほどの大キャラバンであった。

女子には個人装備のみを持たせて、男性7人が共同装備を分担するシステムにした。

## 個人装備

ゴアレイン上下・ザックカバー・シュラフ・シュラフカバー・シュラフマット・フリース夏用上下・替えアンダー(ゼロポイント上下・靴下・手袋・パンツ・Tシャツ)・ヘッドライト・トレペ・ブキ(箸、スプーン)・マグカップ・帽子・タオル・サングラス・行動食・水1.5 L・行動水・コッヘル・酒の肴・ウイスキー

## 共同装備

### 大塚

・双眼鏡・一眼レフカメラ・三脚・テーブルコーダー・ラジオ・高度計・1/25000 地図・コンパス・エマージェンシーキット・ビール3 L・両手鍋1ヶ・しゃもじ・スパつまみ・バーナー&ガス・スパゲッティ3袋&カレー粉&牛肉1kg・パン5ヶ入り×3袋・ラーメン12ヶ・テントマット・ランタン1ヶ

### 岸本

・5人用ドームテント・小ガス2ヶ・テントマット

### 木倉

・7人用モンベルテント・キャベツ1ヶ・ビール1 L・テントマット・ビデオカメラ

### 早人

・ビール3 L・両手鍋1ヶ・バーナー&ガス・玉葱大6ヶ・テントマット・ランタン1ヶ・ビデオカメラ

### アキラ

・水4 L・バーナー&ガス・パン5ヶ入り×3袋・テントマット・ビデオカメラ

### 福迫

・ビール3 L・両手鍋・米3升・バーナー&ガス・テントマット・デジカメ



ミヤマシシウド

## 貴司

・ジャガ芋7ヶ・両手鍋・コーヒー1瓶・みそ汁12ヶ・ラーメン12ヶ・テントマット

## 行動予定

8/5

姫路--車--市ノ瀬駐車場--バス--別当出合--砂防新道--甚の助小屋--南竜ヶ馬場キャンプ場(昼食)--エコライン--弥陀ヶ原--室堂--池めぐり--大汝峰 2684m--御前峰 2702 m--室堂--展望新道--南竜ヶ馬場キャンプ場 2000 m(泊)

池めぐりでは万年雪がある。

南竜ヶ馬場キャンプ場でテント設営し昼食、ザックをデポし、サブザック or ウエストポーチでエコライン経由で池めぐり--大汝峰 2684m--御前峰 2702 m--展望新道でキャンプ場に。

夕食は御飯を炊いて、カレー&カレースパ。酒を飲み交わしダイヤモンドスターを鑑賞。

朝食はコーヒー&パン&おにぎり&みそ汁

8/6

南竜ヶ馬場キャンプ場--油坂--御舎利山--別山--御舎利山--チブリ尾根--市ノ瀬

御舎利山でザックをデポし別山をピストン。

チブリ小屋付近で昼食タイム。市ノ瀬に着いて白山温泉で疲れを癒して帰姫。

上記の行動予定は2日間とも天候不順により実働出来なかった。



イワキギョウ

5日

3:00 出発

大塚宅に集合する。7/21に白馬キャンプ場で知り合った埼玉の河方直子さんは前日から私宅に泊まり、岡山の大江友乃さんは友達の琴美さん宅に泊まってるの参加である、この2人は単独で山に出かける強者レディーである。それとは正反対に三好琴美さんと私の妻は今回は初めての登山である。

8:30 市ノ瀬着

やはりこの夏期はものすごい人である。車を駐車するにも大混雑だ。市ノ瀬から別当出合までバス移動。

9:20 別当出合スタート

天気は快晴で早くも積乱雲が出てきそうである。砂防新道コースで行動。吊り橋の苦手な妻も無事クリアでき幸先のいいスタートである。

白山へはかれこれ10回以上は来ているて色々なコースから縦走しているが8月に来るのは今回が初めてである。あたり一面の高山植物が我々を出迎えてくれていて気持ちが自然に溶け込むようである。

11:15 甚の助小屋直下 小休止

ここまで幾つか小休止を挟みながらも女性達はすこぶる元気である。弥陀ヶ原方面を見ると白いガスが黒くなり暗雲立ちこめて怪しげな雰囲気である。



さあ、出発

12:30 南竜が馬場テント場到着  
早速大型テント二張りし、大鍋を出しての野菜大盛り特製ラーメンの昼食である。夕食の米も洗い、ビールも冷やし、さあサブザックでエコーラインから室堂へ向けて歩き出すが、少しも行かぬうちに雨にたたられ、おまけにカミナリのプレゼント・・・あわてて南竜避難小屋に逃げ込む。  
時間もまだ早いですが別にこれといってすることもなく、沢で冷やしたビールで乾杯となる。その内天候も回復しだし青空が見えだし、再び今度はトンビ岩コースを散策し始めるが、  
またも2/3ほど登ったところで天気が急変しだし、Uターンしキャンプ場に降りる・・・全くもって不安定な天候である。

16:10 夕食準備

時間も時間なので手作り料理に取りかかる。まず大鍋で御飯を炊く・・・ふっくらと抜群に仕上がる。

特製カレーとスパゲティーも仕上がる。肴は玉葱とジャガ芋とニンニクとベーコンのソテーにウナギの蒲焼き、マッシュポテト・・・と山小屋よりも豪華千万の料理である。

19:10

雨上がりの空に金色の夕焼けが空一面に映え渡る。  
場所をテント内に移動し、楽しみの晩際会となり、時間の経つのも忘れて22時頃に就寝につく。



ああ、しんどい



キャンプサイトの夕食

夜中に起きて空を見上げるが輝きは今ひとつであるがうっすらと天の川が見え、昴が確認できた。

6日

十分に満喫して室堂に着くと相変わらずの人・人・人でごった返している。

ザックをデポしサブザックで池めぐりコースへと出かける。これまでも雪渓は幾つかあったがやはり万年雪の千蛇ヶ池の雪渓は半端ではない、冬山に戻ったようである。

10:45 大汝峰 2684 m 小休止

大汝峰を直登し、来年の5月の山スキーのために避難小屋の使用頻度を確認するが、がっちりとした作りで7~8人なら問題ない。

この頃から少しガスが出てきます。大汝峰のガラガラ坂を直降し、適当な岩でボルダリング遊びに興じる。

11:10 御前峰 2702 m

翠ヶ池、血ノ池、油ヶ池、紺屋池を過ぎ、霊峰白山(御前峰)への登りである。

ここからの北アルプス方面の展望は素晴らしいの

5:00 起床 快晴

天気は期待通り雲一つない快晴、気温は8度。

6時過ぎに南竜小屋付近の尾根筋に金色に輝く太陽が当たり始めハエマツ、アオモリトドマツの緑が一層ひきたち、一瞬一瞬の移り変わりが素晴らしい。

7:00 出発

朝食を済ませ、すべてをパッキングして昨日の予定であるコースを変更して、木道の展望新道へ向かう。

途中のアルプス展望台では太陽を背に受け雲海に浮遊する立山連峰、槍穂高連峰、乗鞍、御岳が眼前に迫って迫力十分である。しかし、立山から槍はいつ見てもなんとも長い距離か・・・。

9:30 室堂着

アルプス展望台からの素晴らしいお花畑の中の散策はまるでアルプスのハイジの国にタイムスリップしたかようである。



白山と雪渓

だが、あたり一面にガスが出てきたし景色は残念ながらホワイトワールドである。

11:35 室堂着 大休止 ラーメンタイム



大汝峰 2684 m

千蛇ヶ池上にて

最後の腹ごしらえも済ませ、女性軍はこの室堂の郵便局からそれぞれの友達に葉書を出している・・・なんともはや次の言葉が出なかった。私が来る頃は室堂の夏期が終了しているので郵便局を見たのは今回が初めてである。こんなところから葉書を出してなんか意味があるのか？と思うのだが、私も早人に勧められて明日香と舞に出してしまった。

腹ごしらえも済みそろそろ下山という時に心配していた空が泣き始めて一同レインウェアを身にまとう。

弥陀ヶ原付近で本降りとなり、黒ボコ岩経由で下るが前に20人のパーティーがいてなかなか前に進まない。この光景は白山や尾瀬や富士山の特徴であろう・・・他のアルプスではこんな団体は見たことがない。

砂防新道との出合で道が広くなり我慢も限界に達し、急ピッチで前にいるパーティすべてを抜かして下山するが、途中でものすごいカミナリの来襲で眼前に稲妻が光り、雨も大粒になり序々に道が沢と化してくる。

しかし、そんなことにも臆せず「なんでやねん？」というほど登山者が上ってくる、それも小さな子供を連れた家族連れが・・・、理解に苦しむところである。

#### 14:15 別当出合着

途中でものすごい量の濁流が道をさえぎっていた。



朝日を浴びて展望新道に行く



テン場に咲くニッコウキスゲ



ミヤマキンバエと万才谷



3人娘

#### 15:15 市ノ瀬到着

下界は30度を上回っているというのに雨に叩かれた身体は肌寒いほどである。冷めた身体を永井温泉で暖める。

山の天気は急変して今回の山行は散々になってしまったが、女子たちは「これはこれで結構面白かった」とケロリとしているのには脱帽してしまった。しかしこれがまだ縦走の途中だとそんないい返事は返ってこないだろう。

帰りは埼玉の直子さんを米原JRで降ろし、我々も帰郷したのは22時を回っていた。

PS.

今回のビデオカメラ係りはキクちゃんが新調したビクターのパスポートサイズ、さてさて見るのが楽しみである。

さぁ次はいよいよミレニアムサマーのメイン・・・立山～槍の日本オーソルート縦走である。このためのトレーニングは7月の白馬連峰、今回の白山で十分に仕上がったつもりだが・・・なんといってもお天気しだいであろう。